

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業	事業計画期間	平成27年度～平成31年度（5年間）																				
事業実施地区名 （都道府県名）	（おしまひやま） 渡島檜山森林計画区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 檜山森林管理署																				
事業の概要・目的	<p>当事業は、渡島檜山森林計画区のうち、函館市、北斗市、福島町、知内町、木古内町、江差町、上ノ国町、厚沢部町、乙部町及び奥尻町に所在する112.4千haの国有林を対象としている。</p> <p>当計画区内の森林は、トドマツ、ブナ、ミズナラ、カンバ類等が混交する天然林を主体として、一部スギ等の人工林で構成されている。</p> <p>本地域の大半が水源かん養保安林に指定されており、水源涵養機能の発揮が期待されるとともに、上の沢及び湯ノ沢から桧内沢等は地すべり等が多く、土砂流出防止機能の発揮が求められる森林であることから主に「山地災害防止タイプ」に区分する。</p> <p>奥尻ブナ保護林及びダケカンバ林が発達する亜高山帯の更新困難な森林や、ブナ帯上部等の地形が急峻で施業困難な森林は、地域における森林生態系保全への寄与、野生生物の自由な移動の場としての重要な働きを持っていることから、保護樹帯等として地域全体に広く配置されており、「自然維持タイプ」として管理経営を行う。</p> <p>また、巨樹・巨木100選に選定された縁桂周辺や道立自然公園の恵山周辺は「森林空間利用タイプ」に区分し、文化的、教育的、保健休養的な諸活動のための場の提供等に寄与する管理経営を行う。</p> <p>当事業は、これらの地域の特性を踏まえて、森林の有する公益的機能の持続的発揮、また、地球温暖化の防止や生物多様性の保全等に貢献するため、積極的に間伐を推進するとともに、針広混交林化・複層林化等を促進するため、育成複層林へ導くための施業等を推進し、健全で多様な森林の整備・保全及びその基盤となる林道等の路網の整備を進める。この場合、土砂の流出、水質汚濁の防止等に配慮し、森林生態系の保全に努めるものとする。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">主な事業内容</td> <td style="width: 15%;">森林整備</td> <td style="width: 15%;">更新面積</td> <td style="width: 55%;">824 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>11,571 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>48.2 Km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>0.1 Km</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td></td> <td></td> <td>1,527,323 千円</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	824 ha			保育面積	11,571 ha		路網整備	開設延長	48.2 Km			改良延長	0.1 Km	総事業費			1,527,323 千円
主な事業内容	森林整備	更新面積	824 ha																				
		保育面積	11,571 ha																				
	路網整備	開設延長	48.2 Km																				
		改良延長	0.1 Km																				
総事業費			1,527,323 千円																				
費用対効果分析	総便益(B)	9,998,628 千円																					
	総費用(C)	1,749,265 千円																					
	分析結果(B/C)	5.72																					
森林管理局事業評価技術検討会の意見	必要性、有効性、効率性の観点から事業実施が妥当であると考える。																						
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 本地域は、大半が水源かん養保安林に指定されており、また、森林生態系保全の配慮が求められている地域であり、更に、地球温暖化防止対策や国土保全の観点からも事業の必要性が認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。 ・有効性： 本地域は、地域の水源として基幹産業である農業や水産業の振興に資する役割のほか、急峻な地勢や狭隘な半島を要因として海岸部の森林や生活域に隣接した森林が多く、山地災害の防止に対する機能の発揮が求められており、計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能（特に水源涵養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>																						

様式1

便 益 集 計 表

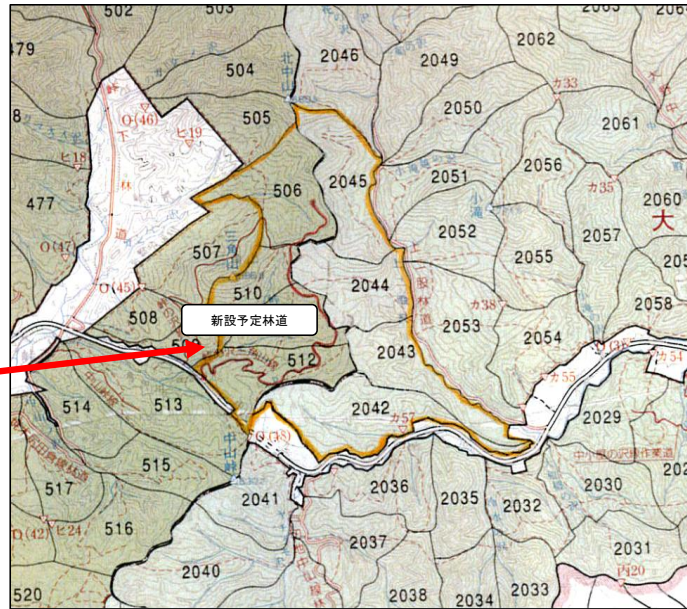
事業名: 森林環境保全整備事業
 施行箇所: 渡島檜山森林計画区

都道県名: 北海道

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評価額 (千円)	備 考
水源 ^{かん} 涵養便益	洪水防止便益	1,821,008	
	流域貯水便益	609,199	
	水質浄化便益	1,368,890	
山地保全便益	土砂流出防止便益	2,877,820	
環境保全便益	炭素固定便益	739,147	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	172,457	
	木材利用増進便益	24,709	
	木材生産確保・増進便益	1,114,830	
森林整備経費縮減等便益	森林管理等経費縮減便益	12,877	
	森林整備促進便益	1,257,691	
総 便 益 (B)		9,998,628	
総 費 用 (C)		1,749,265	
費用便益比	B ÷ C =		5.72

**渡島檜山森林計画区(檜山署)
森林環境保全整備事業**



林道新設



植付



下刈



間伐後

※写真はイメージとなります。